

令和6年度 NEW HORIZON Elementary
複式学級用指導案例(AB 年度版)

Unit 1 第1時 (Starting Out) ※5年生教材を主に扱う。

■ 本時の目標：名前や好きなもの・ことについてのやり取りから、具体的な情報を聞き取る。(5・6年生共通)

【略語】 S&L = Sounds and Letters / MPD = My Picture Dictionary / 指デジブック = 指導者用デジタルブック / 学デジ教 = 学習者用デジタル教科書

時間	児童の活動 (5 年)	児童の活動 (6 年)	指導者の活動や発話例	教材・教具
導入 15 分	・挨拶をする。		・挨拶をし、日付、曜日、天気などをたずねる。	
	【Let's Sing】 ・ Say hello! を歌う。		・ 一度曲を流す。 ・ Unit 1 のテーマを確認する。 ・ 再度曲を流し、歌えるところを歌うように励ます。	指デジブック (5 年生用)
	【Small Talk】 ・ 先生からの How are you? という質問に答える。		・ まず指導者どうしのモデル対話を示す。指導者が 1 人の場合は、指導者用デジタルブックの Small Talk モデル対話映像を活用する。 ・ 指導者と児童のやり取りへと発展させる。 ・ My Picture Dictionary の「気分 (p.8)」を参照させる。	指デジブック (5 年生用) MPD
	・ 5 年生の単元目標を確認する。	・ 6 年生の単元目標を確認する。	・ それぞれの学年のゴールを示す。 ・ Our Goal (=Enjoy Communication の Your Goal) の映像を見せ、目指す姿を共有する。	指デジブック (5 年生用・6 年生用)
展開 20 分	【Listen and Think】 (音声) ・ 音声を聞いて場面を選ぶ。		・ 音声を聞かせ、場面順に○に番号を書かせる。 ・ 児童の状況に応じて、場面ごとに聞こえた言葉を言わせる。	指デジブック (5 年生用)
	【Listen and Think】 (アニメ) ・ 映像を見て内容を理解する。		・ アニメを見せ、やり取りをしながら内容を確認する。 ・ 3 人称 (He [She]) はこの時点では極力使用せずに、指導者がキャラになったつもりで内容を確認すること。	指デジブック (5 年生用)
	【Watch and Think】 ・ 自己紹介映像を見る。 ・ (5 年生) 自分ならどんなことを言えるようになりたいかを考える。(ゴール活動への見通しを立てる。)		・ 映像を見せ、答えを確認する。その他にも、聞き取れたことを発表させる。 ・ 5 年生のゴール活動であるので、5 年生に自分なら何を伝えたいかを考えさせ、Your Plan にメモさせる。	指デジブック (5 年生用)
文字 指導 7 分	【S&L】 (5 年生用) ・ 文字の名前を言いながら大文字を書き写す。(p.16)	【S&L】 (6 年生用) ・ Bb の音に慣れ親しむ。(p.14)	(5 年生) ・ p.17 右上の「文字を書くときの注意点」を説明する。 ・ A～D の文字を書き写させる。 (6 年生) ・ 「Bb の音」について、(1)～(4)の問題に取り組ませる。	学デジ教
まとめ 3 分	・ 本時を振り返る。 ・ 挨拶をする。		・ 本時の学習をまとめ、次時につながる振り返りをする。 ・ 挨拶をする。	ふり返しシート

●留意事項

- ・ 展開部分の活動は、学年によっては前年度に既習した内容になる。その場合、その学年は復習程度に扱い、もう一方の学年の児童に解答させるとよい。次年度以降も同様に、2 年目に学習する内容を復習としてスパイラルに扱う。
- ・ 展開部分の活動は、設定時間に対して活動が多くなっているため、児童の実態に合わせて量を調整する。
- ・ 【Sounds and Letters】は学年別に学習内容を変える。児童用デジタル端末（学習者用デジタル教科書）を用いたりしながら、個別での学習を行う。

Unit 1 第2時 (Starting Out) ※6年生教材を主に扱う。(児童の実態に応じて5年生の活動量を減らすなどの配慮をする。)

■本時の目標：好きなものや宝物などについてのやり取りの概要を捉える。(5・6年生共通)

時間	児童の活動 (5 年)	児童の活動 (6 年)	指導者の活動や発話例	教材・教具
導入 15 分	・挨拶をする。		・挨拶をし、日付、曜日、天気などをたずねる。	
	【Let's Sing】 ・ Hello, everyone. を歌う。		・ 一度曲を流す。新たなキャラ (ケニア出身のナディア) がいることなどに気づかせる。 ・ 再度曲を流し、歌えるところを歌うように励ます。	指デジブック (6 年生用)
	【Small Talk】 (p.6 または p.9) ・ 先生からの Do you have a dog? または、What sport do you like? という質問に答える (児童の実態に応じて選択する)。		・ まず指導者どうしのモデル対話を示す。指導者が 1 人の場合は、指導者用デジタルブックの Small Talk モデル対話映像を活用する。 ・ 「指導者どうし」→「指導者と児童」→「児童どうし」のように段階をふむ。	指デジブック (6 年生用)
	・ 目標を確認する。		・ 本時の目標を確認する。	
展開 20 分	【Listen and Think】 (音声) ・ 音声を聞いて場面を選ぶ。		・ 音声を聞かせ、場面順に○に番号を書かせる。 ・ 児童の状況に応じて、場面ごとに聞こえた言葉を言わせる。	指デジブック (6 年生用)
	【Listen and Think】 (アニメ) ・ 映像を見て内容を理解する。 ・ 空欄に聞き取ったことをメモする。		・ アニメを見せ、やり取りをしながら内容を確認する。 ・ 6 年生には、場面ごとに音声を止めて番号を記入させるのではなく、できれば通して聞かせる。 ・ 教科書の空欄に書かれている「聞き取りの例」に対する答えや、それ以外に聞き取ったことを発表させ、クラスで共有する。	指デジブック (6 年生用)
	【Watch and Think】 ・ 映像を見る。 ・ (6 年生) 自分ならどんなことを言えるようになりたいかを考える。(ゴール活動への見通しを立てる。)		・ 映像を見せる前に、リスニングポイント (教科書の問題 1) や選択肢の読み方を確認する。 ・ 映像を見せ、答えを確認する。その他にも、聞き取れたことを発表させる。 ・ 6 年生のゴール活動であるので、6 年生に自分なら何を伝えたいかを考えさせ、Your Plan にメモさせる。	指デジブック (6 年生用)
文字 指導 7 分	【S&L】 (5 年生用) ・ 文字の名前を言いながら大文字を書き写す。(p.16)	【S&L】 (6 年生用) ・ Cc の音に慣れ親しむ。(p.14)	(5 年生) ・ E～H の文字を書き写させる。 (6 年生) ・ 「Cc の音」ついて、(1)～(4)の問題に取り組ませる。 ・ p.15 右上の「Letter Images」の映像を見せる。	学デジ教
まとめ 3 分	・ 本時を振り返る。 ・ 挨拶をする。		・ 本時の学習をまとめ、次時につながる振り返りをする。 ・ 挨拶をする。	ふり返しシート

●留意事項

- ・ 展開部分の活動は、学年によっては前年度に既習した内容になる。その場合、その学年は復習程度に扱い、もう一方の学年の児童に解答させるとよい。次年度以降も同様に、2 年目に学習する内容を復習としてスパイラルに扱う。
- ・ 展開部分の活動は、設定時間に対して活動が多くなっているため、児童の実態に合わせて量を調整する。
- ・ 【Sounds and Letters】は学年別に学習内容を変える。児童用デジタル端末 (学習者用デジタル教科書) を用いたりしながら、個別での学習を行う。

Unit 1 第3時 (Your Turn) ※5年生教材を主に扱う。

📌 本時の目標：名前のつづりや好きな教科などについて、友達と伝え合う。(5・6年生共通)

時間	児童の活動 (5 年)	児童の活動 (6 年)	指導者の活動や発話例	教材・教具
導入 5 分	・挨拶をする。		・雰囲気づくりのため、授業前から Let's Sing の曲をかける (5 年生または 6 年生の曲を実態に応じて選ぶ)。 ・挨拶をし、体調、日付、曜日、天気などをたずねる。	指デジブック
	・目標を確認する。		・本時の目標を確認する。	
展開 30 分	【Let's Watch 1・2】 ・名前のつづりや好きな教科についてのやり取りを見る。		・映像を見て、名前のつづりのたずね方と答え方、好きな教科のたずね方と答え方について振り返る。	指デジブック (5 年生用)
※問題量を減らし 2 年間で学習する。	【Let's Chant】 ・①How do you spell your name? と②What subject do you like? を聞き、まねて言う。		・チャンツを流し、リズムやイントネーションも意識しながらいっしょに言うよう促す。 ・必要に応じて、チャンツ②を行う前に MPD の「教科 (p.28)」で発音練習を行う。	・指デジブック (5 年生用) ・MPD
	【Let's Listen 1】 ・名前のつづりに関するやり取りを聞く。		・「例」の音声を聞かせ、表の中から聞こえた文字 (つづり) を○で囲むよう指示する。 ・ 1 と 2 の音声を聞かせる。	指デジブック (5 年生用)
	【Let's Try 1】 ・自分の名前を 4 線上に書く。 ・友達と名前のつづりをたずね合う。		・指導者どうして対話例を実演する。 ・4 線上に児童自身の名前を書かせる。 ・名前のつづりをたずね合わせ、聞き取ったつづりを表に書かせる。	
	【Let's Listen 2】 ・好きな教科やスポーツに関するやり取りを聞く。		・人物の名前と選択肢の語彙を確認する。 ・音声を聞かせ、線で結ばせる。	指デジブック (5 年生用)
	【Let's Try 2】 ・友達と好きな教科やスポーツをたずね合う。		・「同じ教科が好きな人はいるかな」などと活動の目的を設定し、児童の「知りたい」という意欲を引き出す。 ・指導者どうして対話例を実演する。 ・好きな教科やスポーツをたずね合わせ、分かったことを表に書かせる。	
文字指導 7 分	【S&L】(5 年生用) ・文字の名前を言いながら大文字を書き写す。 (p.16)	【S&L】(6 年生用) ・Dd の音に慣れ親しむ。(p.14)	(5 年生) ・I～L の文字を書き写させる。 (6 年生) ・「Dd の音」について、(1)～(4)の問題に取り組ませる。 ・p.15 右上の「Letter Images」の映像を見せる。	学デジ教
まとめ 3 分	・本時を振り返る。 ・挨拶をする。		・本時の学習をまとめ、次時につながる振り返りをする。 ・挨拶をする。	ふり返しシート

●留意事項

- ・展開部分の活動は、学年によっては前年度に既習した内容になる。その場合、その学年は復習程度に扱い、もう一方の学年の児童に解答させるとよい。次年度以降も同様に、2 年目に学習する内容を復習としてスパイラルに扱う。
- ・展開部分の活動は、設定時間に対して活動が多くなっているため、児童の実態に合わせて量を調整する。
- ・【Sounds and Letters】は学年別に学習内容を変える。児童用デジタル端末 (学習者用デジタル教科書) を用いたりしながら、個別での学習を行う。

Unit 1 第4時 (Your Turn) ※6年生教材を主に扱う。(児童の実態に応じて5年生の活動量を減らすなどの配慮をする。)

🚩本時の目標：好きなものや、宝物とその理由について、友達と紹介し合ったり書いたりする。(5・6年生共通)

時間	児童の活動 (5 年)	児童の活動 (6 年)	指導者の活動や発話例	教材・教具
導入 5 分	・挨拶をする。		・雰囲気づくりのため授業前から Let's Sing の曲をかける (5 年生または 6 年生の曲を実態に応じて選ぶ)。 ・挨拶をし、体調、日付、曜日、天気などをたずねる。	指デジブック
	・目標を確認する。		・本時の目標を確認する。	
展開 30 分 ※問題量を減らし2年間かけて学習する。	【Let's Chant】 ・ My treasure is this ball. を聞き、まねして言う。		・ チャンツを流し、リズムやイントネーションも意識しながらいっしょに言うように促す。 ・ 学習者用デジタル教科書を用いて各自で練習することも考えられる。	・ 指デジブック (6 年生用) ・ 学デジ教
	【Let's Watch 1・2】 ・ 自己紹介や宝物についてのやり取りを見る。		・ 映像を見て、自己紹介の仕方や、宝物についてたずねる言い方と答え方について振り返る。	指デジブック (6 年生用)
	【Let's Listen 1】 ・ 好きな色・スポーツ・動物についてのやり取りを聞く。		・ 会話の場面や選択肢の語彙を確認する。 ・ 音声を聞かせ、答えを記入させる。	指デジブック (6 年生用)
	【Let's Try 1】 ・ 語彙を確認する。 ・ 好きなものについてたずね合う。		・ 「色」「スポーツ」「動物」「教科」などについて、MPD で語彙を確認する。	MPD
	【Let's Listen 2】 ・ 宝物についてのスピーチを聞く。		・ 人物の名前と選択肢の語彙を確認する。 ・ 音声を聞かせ、線で結ばせる。 ・ 答え合わせをしながら、キーワードを言わせる	指デジブック (6 年生用)
	【Let's Try 2】 ・ 宝物とその理由について、友達とたずね合う。		・ 自分の宝物と、そう考える理由、それに関係することなどを、表にメモしながら考えさせる。MPD を参照させてもよい。	MPD
文字指導 7 分	【S&L】(5 年生用) ・ 文字の名前を言いながら大文字を書き写す。(pp.16・17)	【S&L】(6 年生用) ・ Ff の音に慣れ親しむ。(p.14)	(5 年生) ・ M～P の文字を書き写させる。 (6 年生) ・ 「Ff の音」について、(1)～(4)の問題に取り組ませる。 ・ p.15 右上の「Letter Images」の映像を見せる。	学デジ教
まとめ 3 分	・ 本時を振り返る。 ・ 挨拶をする。		・ 本時の学習をまとめ、次時につながる振り返りをする。 ・ 挨拶をする。	ふり返しシート

●留意事項

- ・ 展開部分の活動は、学年によっては前年度に既習した内容になる。その場合、その学年は復習程度に扱い、もう一方の学年の児童に解答させるとよい。次年度以降も同様に、2 年目に学習する内容を復習としてスパイラルに扱う。
- ・ 展開部分の活動は、設定時間に対して活動が多くなっているため、児童の実態に合わせて量を調整する。
- ・ 【Sounds and Letters】は学年別に学習内容を変える。児童用デジタル端末（学習者用デジタル教科書）を用いたりしながら、個別での学習を行う。

Unit 1 第5時 (Enjoy Communication) ※各学年の教科書を使用する。本時は、学年別でゴールに向けた活動を行う。

■本時の目標： 名前や好きなもの・ことについて、表現を振り返ったり情報を整理したりして、自己紹介の内容を考える。(5年生)
好きなものや宝物などについて、表現を振り返ったり情報を整理したりして、発表の内容を考える。(6年生)

時間	児童の活動 (5 年)	児童の活動 (6 年)	指導者の活動や発話例	教材・教具
導入 5 分	・挨拶をする。		・雰囲気づくりのため、授業前から Let's Sing の曲をかける (5 年生または 6 年生の曲を実態に応じて選ぶ)。 ・挨拶をし、体調、日付、曜日、天気などをたずねる。	指デジブック
	・目標を確認する。		・本時の目標を確認する。	
展開 30 分	【Step 1】 ・表現を復習する。	【Step 1】 ・表現を復習する。	・それぞれの学年の「モデル映像」を見せる。 (5 年生) ・「会話練習映像」でロビンソン先生の質問に答える練習をさせる。個別に学習者用デジタル教科書で練習させる。 (6 年生) ・文を指で追いながら聞かせたり、まねして発音させたりする。個別に学習者用デジタル教科書で練習させる。 ※本時まで、p.7 や p.8 の Let's Read and Write に自分のことを記入させておく。	・指デジブック (5 年生用・6 年生用) ・学デジ教
	【Step 2】 ・情報を整理・改善する。 ・「名刺カード」を作る。	【Step 2】 ・情報を整理・改善する。 ・「宝物紹介カード」を作る。	(5 年生) ・「名刺カード」の表面に名前を書かせる。 ・児童自身の伝えたいことを考えさせ、「名刺カード」の裏面に書かせる (日本語・英語のどちらでもよい)。 ・名前やつづり、好きなもの・ことについてペアで伝え合う。 ・やり取りを通して、カードの内容や話したいことを見直す。 (6 年生) ・「好きなもの・こと」「宝物」「その理由」について考え、教科書の空所にメモする。 ・カード表面に名前と宝物を書かせる。裏面には発表で伝えたいことをメモさせる (日本語・英語のどちらでもよい)。 ・声に出して自分の発表の整理・練習をさせる。 ・「発表に関連する表現例 (Any questions?)」を確認する。 ・ペアで、発表とその後のやり取りの練習をする。	・巻末コミュニケーションカード ・MPD
文字 指導 7 分	【S&L】 (5 年生用) ・文字の名前を言いながら大文字を書き写す。(p.17)	【S&L】 (6 年生用) ・Gg の音に慣れ親しむ。(p.15)	(5 年生) ・Q～T の文字を書き写させる。 (6 年生) ・「Gg の音」について、(1)～(4)の問題に取り組ませる。 ・p.15 右上の「Letter Images」の映像を見せる。	学デジ教
まとめ 3 分	・本時を振り返る。 ・挨拶をする。		「Before 会話で気をつけたいこと」(6 年は「Before 発表で気をつけたいこと」)の欄に、次時のゴール活動で気をつけたいことを書きこませる。 ・挨拶をする。	ふり返しシート

●留意事項

- ・【Sounds and Letters】は学年別に学習内容を変える。児童用デジタル端末 (学習者用デジタル教科書) を用いたりしながら、個別での学習を行う。

Unit 1 第6時 (Enjoy Communication) ※各学年の教科書を使用する。

🚩本時の目標： お互いのことをよく知るために、名前やつづり、好きなもの・こと、宝物などを紹介し合う。(5・6年生共通)

時間	児童の活動 (5 年)	児童の活動 (6 年)	指導者の活動や発話例	教材・教具
導入 5 分	・挨拶をする。		・雰囲気づくりのため、授業前から Let's Sing の曲をかける (5 年生または 6 年生の曲を実態に応じて選ぶ)。 ・挨拶をし、体調、日付、曜日、天気などをたずねる。	指デジブック
	・目標を確認する。		・本時の目標を確認する。	
展開 30 分	【Your Goal】 ・活動のイメージをつかむ。	【Your Goal】 ・活動のイメージをつかむ。	・それぞれの学年の Your Goal (=Our Goal) の映像を流す。 (5 年生) ・友達の話を聞いて相づちを打ったり、さらに質問したりして会話を継続していることに気づかせる。 (6 年生) ・友達の発表を聞いて相づちを打ったり、質問したりしていることに気づかせる。	・指デジブック (5 年生用・6 年生用) ・学デジ教
	【Your Goal】 ※5 年生の内容 ・複数の友達と自己紹介し合う。		・「名刺カード」を持ってクラス内を自由に回り、自己紹介のやり取りをさせる。この際、仲の良い児童ばかりで会話することがないように、指導者は状況に応じてペアを指定するなどして、目的が達成できるよう声掛けをする。 ・6 年生は前年度に作成したものがあればそれを用いるか、この活動の前に用意させておく。	巻末コミュニケーションカード
	【Your Goal】 ※6 年生の内容 (6 年生) ・複数の友達と好きな物や宝物などを紹介し合う。 ・言えたことの中から 1 文書く。 (5 年生) ・6 年生の紹介を聞く。可能であれば、これまでの既習表現を用いて質問をするなど、やり取りをする。		・「宝物紹介カード」を持ってクラス内を自由に回り、ペアで宝物紹介のスピーチをさせる。この際、仲の良い児童ばかりで組むことがないように、指導者は状況に応じてペアを指定するなどして、目的が達成できるよう声掛けをする。 ・友達のことで初めて知ったことなどを発表させる。 (6 年生) ・話した英文の中から 1 つを選んで教科書の 4 線に書かせる。	
	【S&L】 (5 年生用) ・文字の名前を言いながら大文字を書き写す。(p.17)	【S&L】 (6 年生用) ・単語のはじめの音を聞き取る。(p.15)	(5 年生) ・U～W の文字を書き写させる。 (6 年生) ・この単元で学習した Bb、Cc、Dd、Ff、Gg を頭文字に持つ単語を聞き、はじめの音を聞き取る。	学デジ教
まとめ 5 分	・本時を振り返る。 ・挨拶をする。		「After 活動のふり返し」の欄に、Before の欄に記入していた課題が達成できたかどうか、また、気づいたことなどを記入させる。 ・Enjoy Communication 全体を振り返り、スマイルマークの当てはまるものに色を塗らせる。空欄には、よくできたと思うことなどを書かせる。 ・挨拶をする。	ふり返しシート

●留意事項

- ・【Sounds and Letters】は学年別に学習内容を変える。児童用デジタル端末 (学習者用デジタル教科書) を用いたりしながら、個別での学習を行う。

Unit 1 第7時 (Over the Horizon)

※A年度：5年生教材を主に扱う。

■本時の目標：映像や音声を手がかりにして、人や国などの名前や略称について考え、日本と世界の文化に対する理解を深める。(5・6年生 共通)

時間	児童の活動 (5 年)	児童の活動 (6 年)	指導者の活動や発話例	教材・教具
導入 10 分	・挨拶をする。		・雰囲気づくりのため、授業前から 5 年生の Let's Sing の曲をかける。 ・挨拶をし、体調、日付、曜日、天気などをたずねる。	指デジブック
	【Small Talk】 ・What are your initials? のやり取りを行う。		・名前のイニシャルをたずね合う対話を「指導者→児童」から「児童どうし」へと展開する。 T: My name is Kato Sakura. So, my initials are KS. How about you, S1? What are your initials? S: My name is Yamada Ayako. So, my initials are YA.	指デジブック (5 年生用)
	・目標を確認する。		・本時の目標を確認する。	
展開 25 分	【文化探検】 ・映像を見て、人や国などの名前のイニシャルを書いたり、話し合ったりする。		・ 1 ～ 4 の映像を流す。 ・英語国では「名 (First name) + 姓 (Family name)」の順で名前を言うことが多いことを確認し、児童に What are your first [family] name? とたずねてみてもよい。 ・各問題の回答は 1 = EM / 2 = OMJ / 3 = ISS / 4 = UAE	指デジブック (5 年生用・6 年生用)
	【フカボリ！】 ・身の回りで、アルファベットと形が似ているものを探し、見つけた文字を書く。		・教室を自由に移動させ、アルファベットと形が似ているものを探させる。宿題として、家庭で探させてもよい ・見つけたものを児童用デジタル端末で撮影させ、画像を教師の端末に送らせてクラスで共有してもよい。	児童用デジタル 端末
文字 指導 7 分	【S&L】(5 年生用) ・文字の名前を言いながら大文字を書き写す。(p.17)	【S&L】(6 年生用) ・Aa の音に慣れ親しむ。(p.15)	(5 年生) ・X～Z の文字を書き写させる。 (6 年生) ・「Aa の音」について、(1)～(4)の問題に取り組ませる。 ・p.15 右上の「Letter Images」の映像を見せる。	学デジ教
まとめ 3 分	・本時を振り返る。 ・挨拶をする。		・新しく知ったことや気づいたことなどを振り返り、ペアで話し合わせたり発表させたりする。 ・挨拶をする。	ふり返しシート

●留意事項

- ・【Sounds and Letters】は学年別に学習内容を変える。児童用デジタル端末（学習者用デジタル教科書）を用いたりしながら、個別での学習を行う。
- ・5 年 p.15 の Word Quiz は時間があれば行う。家庭学習にしてもよい。

Unit 1 第8時 (Over the Horizon) ※A年度：5年生教材を主に扱う。

■本時の目標：映像や音声を手がかりにして、日本に住む外国人やアイヌ文化について考え、日本と世界の文化に対する理解を深める。(5・6年生共通)

時間	児童の活動 (5 年)	児童の活動 (6 年)	指導者の活動や発話例	教材・教具
導入 5 分	・挨拶をする。		・雰囲気づくりのため、授業前から 5 年生の Let's Sing の曲をかける。 ・挨拶をし、体調、日付、曜日、天気などをたずねる。	指デジブック
	・目標を確認する。		・本時の目標を確認する。	
展開 30 分	【日本探検】 ・映像や音声を手がかりにして、日本に住む外国人やアイヌ文化について知る。		・一度全体を通して視聴させる。 ・前半 (0:00～02:00) では、映像を止めながら、いくつかの内容について、映像を止めて確認しながら視聴させる。 ▶2 人がいる場所 ▶シンさんの名前と出身地 ▶Hello にあたる言葉 ▶「札幌」の意味 ・後半 (02:00～) を視聴させ、教科書の 1 と 2 を考えて記入させる。 ・アイヌ文化についてもっと知りたいことを 3 にメモさせたり発表させたりする。	指デジブック (5 年生用)
	【ことば探検】 ・ローマ字のつづりとその発音の仕方について考える。		・問題 1～3 それぞれの 2 つの単語を比べて、つづりがことなる部分に下線を引かせ、読み方を推測させる。 ・音声を聞かせ、それぞれどのように聞えたかをペアで話し合わせる。 ・全体で共有し、音声に続けて発音させてみる。 ・気づいたことを書かせる。 ※My Picture Dictionary のローマ字表 (p.48) で、ヘボン式ローマ字と訓令式ローマ字の違いについて確認する。	・指デジブック (5 年生用) ・MPD
文字 指導 7 分	【S&L】(5 年生用) または 【S&L】(6 年生用)		・5 年教材「ビンゴゲーム (p.17)」または、6 年教材「聞いてみよう① (p.15)」をさせる (どちらを選ぶかは、児童の実態に応じて決める)。	学デジ教
まとめ 3 分	・本時と単元全体を振り返る。 ・挨拶をする。		・本時および単元の学習をまとめる。 ・単元全体を振り返り、児童の良かったところを褒める。 ・挨拶をする。	ふり返しシート

●留意事項

- ・5 年 p.15 の Word Quiz は時間があれば行う。家庭学習にしてもよい。

Unit 1 第7時 (Over the Horizon) ※B年度：6年生教材を主に扱う。(児童の実態に応じて5年生の活動量を減らすなどの配慮をする。)

■本時の目標：映像や音声を手がかりにして、世界の子供たちの大切なものなどについて考え、世界の文化に対する理解を深める。(5・6年生共通)

時間	児童の活動 (5 年)	児童の活動 (6 年)	指導者の活動や発話例	教材・教具
導入 10 分	・挨拶をする。		・雰囲気づくりのため、授業前から 6 年生の Let's Sing の曲をかける。 ・挨拶をし、体調、日付、曜日、天気などをたずねる。	指デジブック (6 年生用)
	【Small Talk】 ・ What country do you like? のやり取りを行う。		・好きな国をたずね合う対話を「指導者→児童」から「児童どうし」へと展開する。 T: What country do you like? S: I like Korea. T: Why? S: I like K-pop. T: Oh, you like K-pop music! Me, too.	指デジブック (6 年生用)
	・目標を確認する。		・本時の目標を確認する。	
展開 25 分	【文化探検】 ・映像を見て、世界の子供たちが大切にしているものについて聞き取り、英語で書く。		・教科書の写真を見せ、どの国のものか、また、写真の人々が大切にしているものは何かを考えさせる。 ・ A ～ C の映像を流す。児童の状況に応じて、映像を 1 つ見るごとに答えを確認する。 ・それぞれの国の子供たちが大切にしているものについて、考えたことを書くように指示する。 ・各問題の回答は A = water / B = horse(s) / C = (baseball) glove	・指デジブック (6 年生用) ・MPD
	【フカボリ！】 ・日本の途上国支援についての映像を視聴し、建物名を書く。		・日本の支援により建てられたウガンダの病院の映像を見て、4 線に建物名を英語で書かせる。	・指デジブック (6 年生用) ・MPD
文字 指導 7 分	【S&L】(5 年生用) ・文字の名前を言いながら大文字を書き写す。(p.17)	【S&L】(6 年生用) ・Aa の音に慣れ親しむ。(p.15)	(5 年生) ・X～Z の文字を書き写させる。 (6 年生) ・「Aa の音」について、(1)～(4)の問題に取り組ませる。 ・p.15 右上の「Letter Images」の映像を見せる。	学デジ教
まとめ 3 分	・本時を振り返る。 ・挨拶をする。		・新しく知ったことや気づいたことなどを振り返り、ペアで話し合わせたり発表させたりする。 ※国や文化それぞれの違いを知り、お互いを尊重する、という視点に気づかせたい。 ・挨拶をする。	ふり返しシート

●留意事項

- ・【Sounds and Letters】は学年別に学習内容を変える。児童用デジタル端末（学習者用デジタル教科書）を用いたりしながら、個別での学習を行う。
- ・6 年 p.13 の Word Bingo は時間があれば行う。

Unit 1 第8時 (Over the Horizon) ※B年度：6年生教材を主に扱う。(児童の実態に応じて5年生の活動量を減らすなどの配慮をする。)

■本時の目標：映像や音声を手がかりにして、外国の子供のことやその国の特徴について考える。また、音声やイラストを参考にして物語を読む。(5・6年生共通)

時間	児童の活動 (5 年)	児童の活動 (6 年)	指導者の活動や発話例	教材・教具
導入 5 分	・挨拶をする。		・雰囲気づくりのため、授業前から 6 年生の Let's Sing の曲をかける。 ・挨拶をし、体調、日付、曜日、天気などをたずねる。	指デジブック (6 年生用)
	・目標を確認する。		・本時の目標を確認する。	
展開 30 分	【世界探検】 ・映像や音声を手がかりにして、カナダの子供の好きなものや、その国の特徴について知る。		・聞き取りのポイントを 1 つ示す。 例：「クララの好きなものは何かな。」 ・一度全体を通して視聴させ、クララが好きなものを発表させる。 ・前半 (0:00～00:44) を再度見せ、好きなもの以外に分かったことを 1 に書かせ、発表させる。 例：千代もクララも 12 歳／カナダのメープルシロップは有名 ・後半 (00:44～) を視聴させ、分かったことを 1 に書かせ、発表させる。 例：英語とフランス語を話す人がいるので、2 言語で書かれた標識がある。／ナイアガラの滝はとてもすばらしい。など。 ・カナダについて考えたことを 2 にメモさせたり発表させたりする。 ※書くことが思いつかない児童には、カナダに行きたいと思ったかどうかなどを問いかけるとよい。	指デジブック (6 年生用)
	【物語探検】 ・イラストを見ながら音声を聞き、物語を楽しむ。また、音声を聞いた後、英文を読んでみる。		・Scene 1～4 を視聴させる。指導者は音声に合わせて絵を指し示す。学習者用デジタル教科書で個別に視聴する時間を設けてもよい。 ・Scene 5 を、文字を指で追いつきながら聞くよう指示し、何度か視聴させる。 ・自分で声に出して読ませる。	・指デジブック (6 年生用) ・学デジ教
文字 指導 7 分	【S&L】 (5 年生用) または 【S&L】 (6 年生用)		・5 年教材「ビンゴゲーム (p.17)」または、6 年教材「聞いてみよう① (p.15)」をさせる (どちらを選ぶかは、児童の実態に応じて決める)。	学デジ教
まとめ 3 分	・本時と単元全体を振り返る。 ・挨拶をする。		・本時および単元 (の学習をまとめる。 ・単元全体を振り返り、児童の良かったところを褒める。 ・挨拶をする。	ふり返しシート

●留意事項

- ・6 年 p.13 の Word Bingo は時間があれば行う。